

わたしのリカバリーストーリーと リカバリーに必要な地域包括ケアシステム

地域活動支援センター こまつがわ
ピアスタッフ 星 ひかる

ゆいの利用に至るまでの経緯

みんなが困る → 家族やB型事業所でうまくいかない

B型事業所

ショートステイ

ゆいの
情報提供



わたし

ゆいの見学をして利用開始

自立訓練（生活訓練）事業

原則2年間（延長1年）の利用期限

期限内に日中活動において
何らかの形で“移行”が必要

アクティビティサポートセンターゆい は

暮らしを豊かにするためには、楽しみ、所属、役割が必要。

一人一人の過ごし方をマネジメントする事業所

ゆい利用当初のわたし

送迎（外出支援）（通所）

不安なことの相談や整理

過ごし方探しでのプログラム参加

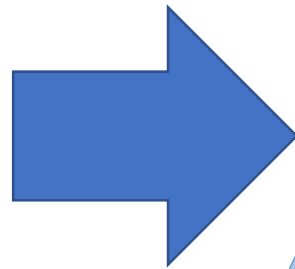
家の環境整備（チェックリスト）



わたし

ゆいの活動で出会ったわたしの転機

ゆいの
スポーツ
プログラム



友達が増えた

信頼できる
スタッフとの
出会い

安心・信頼を
手に入れる



少しずつ
症状も良くなる

まわりからの
評価に
焦点をあてる



自分のおもい
目標に
焦点をあてる

やりたい仕事が見つかった！

利用開始からの期間	～2年	～2年半	～3年	卒業後
	訪問してもらいながら通所	ネイルの資格修得	居場所づくり	スポーツサークル立ち上げ

ネイルの資格が取りたい！

一人で外出するために…

アパートの下からテレビ電話を利用したカギ確認

作業が見えない電話でのカギ確認

事業所から電話するかたちでのカギ確認

チェックリストでのカギ確認

ゆい終了後にむけた居場所づくり

卒業後の
自分の
居場所に
不安

キャプテン
になる

チーム
づくり
やってみた

自分のための
居場所をつくろう

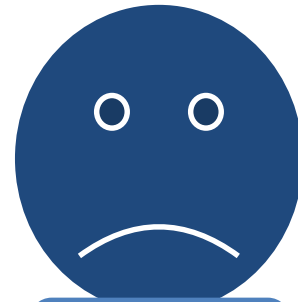
他の利用者さんも
必要な居場所だと実感

自分の
居場所
のため

他者の
居場所
のため

ゆいの仲間と離れる不安

「他の人に頼れるようになる」とか、「地域のバレーボールサークルに入ったらいい」とか、そうじゃない！

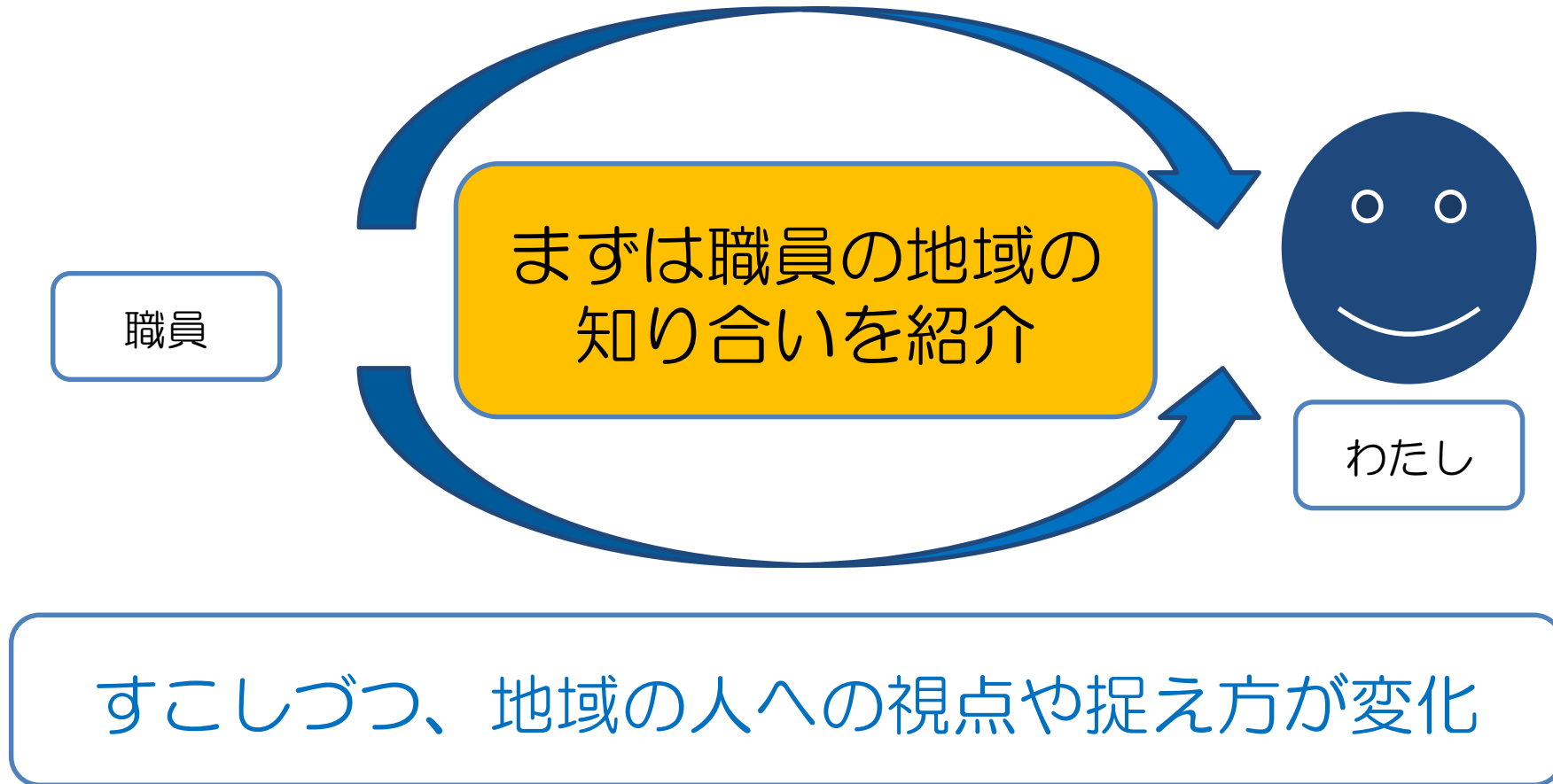


わたし

職員以外の人に頼ること、地域の人に自分という人間ではなく障害者とみられるのではないかという不安…

地域に対してネガティブな感情！

安心してつながれる地域の人と出会う



居場所づくりに向けて



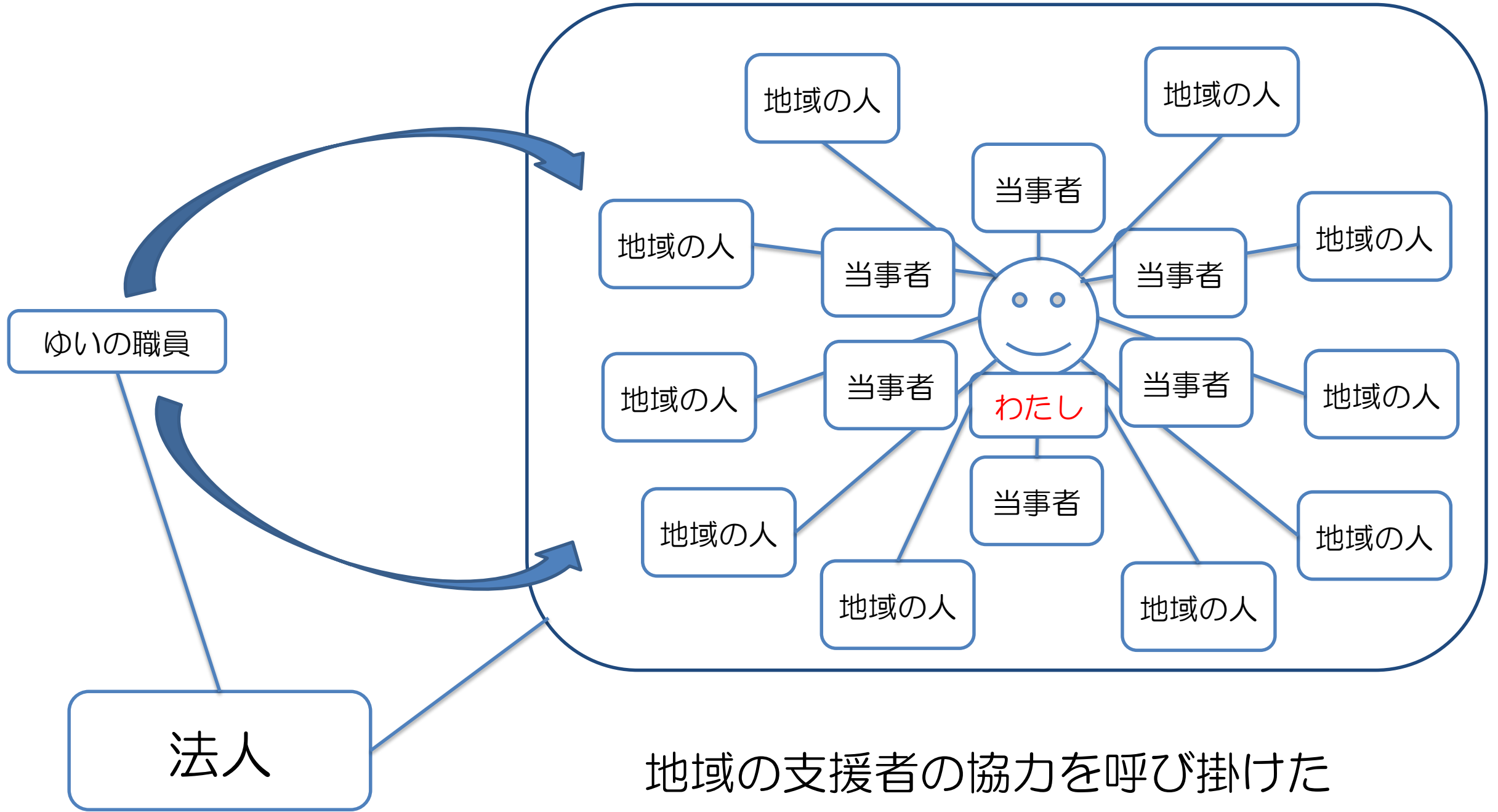
同じ生活訓練を終了した友人の死…
助けてあげることができたのではないかと…

やはり地域に私たちの居場所が必要！
居場所づくりへの必要性を強く感じた



地域に対してポジティブ
な感情に！

地域の人に協力してもらい
スポーツサークルを本格的にやっていく決心！

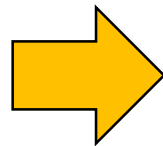


地域の支援者の協力を呼び掛けた

当事者、仲間同士のつながりから得た気づき

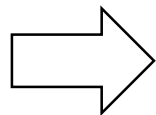
地域の人とのつながりから得た気づき

自分のための居場所



他の人ため
必要な人のための居場所

キャプ
テン
の経験

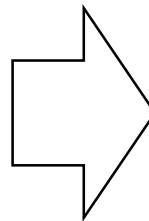


自分ではなく、他の人
に矢印がむいた

コミュニケーションが
上手になる

他の人のおもいよつに関心
を持てる

寄り添い、共感できた

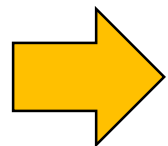


みんなの居場所を
みんなとつくりたい
おもい、意欲
(社会資源の創出)

いいね!!

ピアスタッフへのお誘い

スポーツ
LOVERS



ソーシャルインクルージョン
(ごちゃまぜ社会)の実現

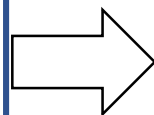
であい

スタッフから
の紹介

おもいの共感

運動不足解消

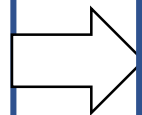
地元の居酒屋



地域住民の声

はじめはびっくりし
たけど、今はわかる

真剣にスポーツを行う
ことに、障害の有無は
関係ない



楽しいおつきあい

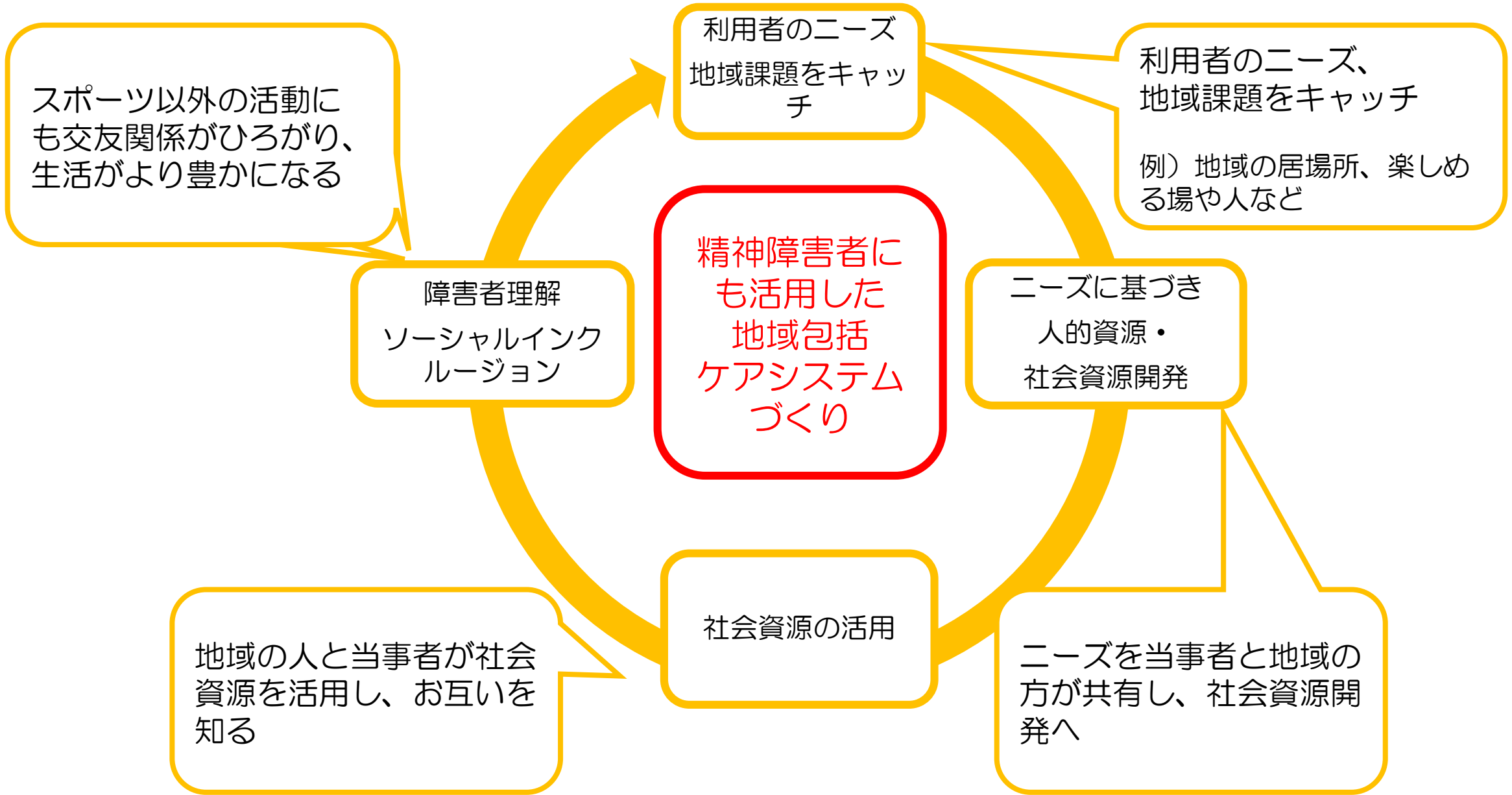
支援センターにも来てくれる

花火大会へ行く

居酒屋へ飲みに行く



暮らしやすい街



ご清聴ありがとうございました。